

以下、本文-----

切除不能膵癌患者におけるサルコペニアの臨床的意義

1. 研究の対象

2012年1月～2017年12月に当院で切除不能膵癌と診断された方で当院で治療歴のある方。

2. 研究目的・方法

本研究では2012年1月～2017年12月に当院で切除不能膵癌と診断された患者様で診断時および治療中に実施したCTを用いて腸腰筋面積を測定し臨床予後との関連性を検討します。また、化学療法実施した患者においては腸腰筋面積と化学療法実施状況や副作用の出現についての関連性について検討します。

方法としては過去の診療記録を用いて後ろ向きに検討します。

研究期間に関しては、2012年1月～2019年3月とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、血液検査結果、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、CT所見（腸腰筋面積など）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：岐阜県立多治見病院 消化器内科 主任医師 羽根田 賢一

岐阜県立多治見病院 消化器内科

〒507-8522 岐阜県多治見市前畑町 5-161

連絡先：TEL 0572-22-5311 FAX 0572-25-1246

-----以上